



Roche ロシュグループ

# 2012年第2四半期 連結決算概要

中外製薬株式会社  
取締役専務執行役員 CFO  
板谷 嘉夫

2012.7.26/27

# 将来見通し

---

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

注：本資料の数値は億円未満を四捨五入して表示  
増減、%は億円単位で表示された数字で計算

# 2012年第2四半期 連結決算概要

---

## ■ 売上高 1,853億円 (+1.9%)

- タミフル：季節性インフルエンザの流行により前年比約1.8倍
- タミフルを除く国内製商品：新製品効果をエポジン、C型肝炎領域の落ち込みと薬価改定影響が相殺し前同並
- 海外：アクテムラの輸出拡大により二桁増
- その他の営業収入：一時金の減少により約3割減

## ■ 営業利益 343億円 (▲2.6%)

- コスト効率向上による販管費の減少が製品MIXの悪化による売上総利益の減少に打ち消され減益

## ■ 四半期純利益 209億円 (+22.2%)

- 前年は震災影響で特別損失65億円を計上

# 損益の概要 1-6月実績

【億円】	2011年 1-6月		2012年 1-6月		増減	
	売上 (%)		売上 (%)			%
<b>売上高</b>		<b>1,819</b>		<b>1,853</b>	<b>+34</b>	<b>+1.9</b>
製商品売上高		1,748		1,800	+52	+3.0
<b>タミフルを除く</b>		<b>1,702</b>		<b>1,719</b>	<b>+17</b>	<b>+1.0</b>
タミフル		46		81	+35	+76.1
その他の営業収入		72		53	▲19	▲26.4
<b>営業利益</b>		<b>352</b>	<b>19.4</b>	<b>343</b>	<b>▲9</b>	<b>▲2.6</b>
営業外収益		13		10	▲3	▲23.1
営業外費用		4		10	+6	+150.0
<b>経常利益</b>		<b>362</b>	<b>19.9</b>	<b>343</b>	<b>▲19</b>	<b>▲5.2</b>
特別利益		-		0	+0	-
特別損失		76		0	▲76	▲100.0
<b>当期純利益</b>		<b>171</b>	<b>9.4</b>	<b>209</b>	<b>+38</b>	<b>+22.2</b>

- 製商品売上高(タミフルを除く)
  - 国内 ▲5億円
  - 海外 +22億円
- タミフル\* +35億円
- その他の営業収入 ▲19億円
  - 一時金収入の減少
- 営業利益 ▲9億円
- 営業外収支の悪化 ▲10億円
- 特別損益の改善 +76億円
  - 災害による損失 +65億円
  - 資産除去債務影響 +10億円

期中平均レート(円)

	2011年1-6月	2012年1-6月
CHF	90.38	85.82
EUR	114.86	103.39

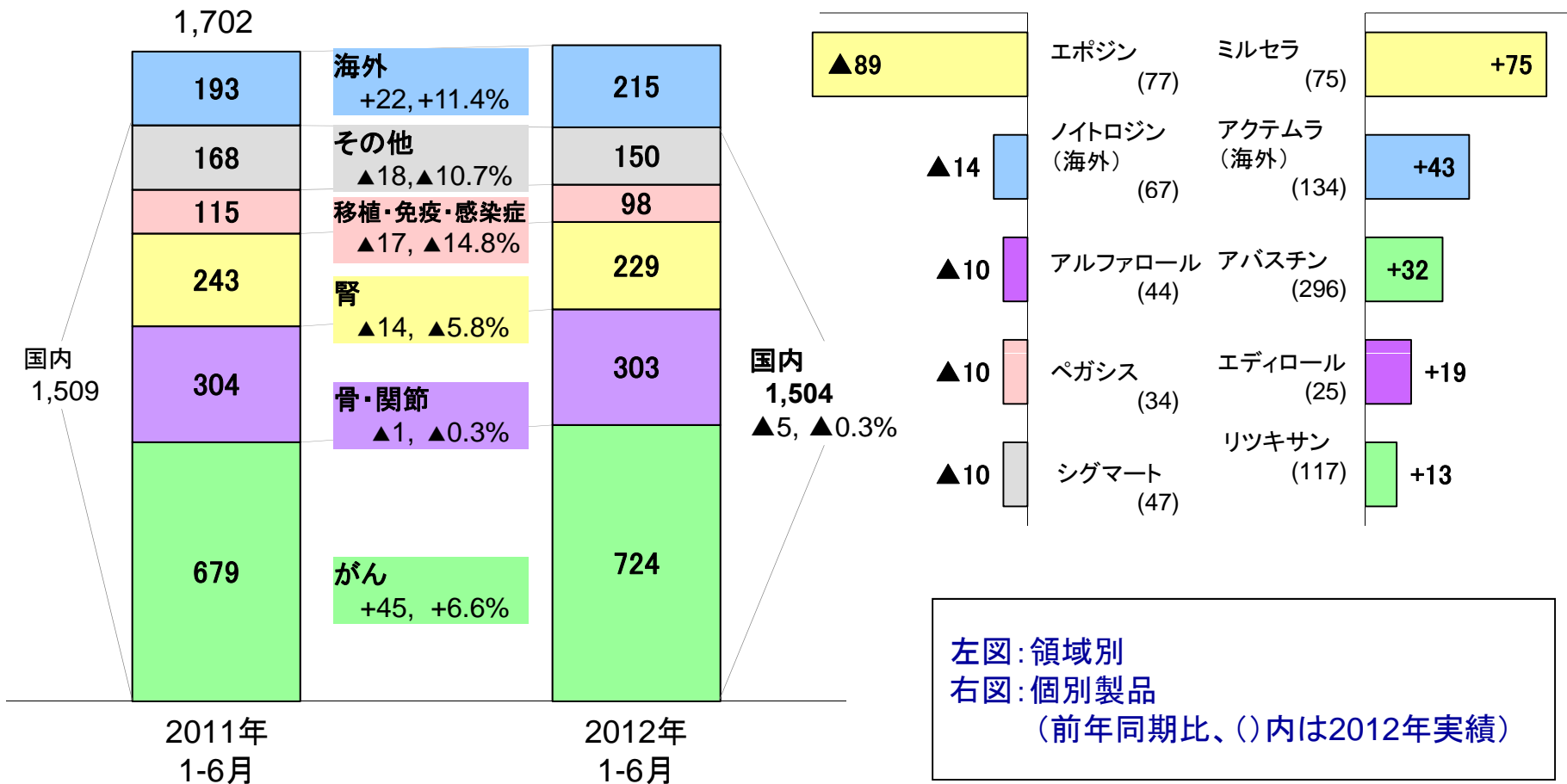
\* タミフル 内訳

	2011年1-6月	2012年1-6月	増減
通常	41億円	78億円	+37億円
行政備蓄等	5億円	4億円	▲1億円

# 製商品売上高（タミフルを除く）の増減内訳 1-6月実績

製商品売上高（タミフルを除く）  
1,719億円（+17, +1.0%）

【億円】



# タミフルの売上状況

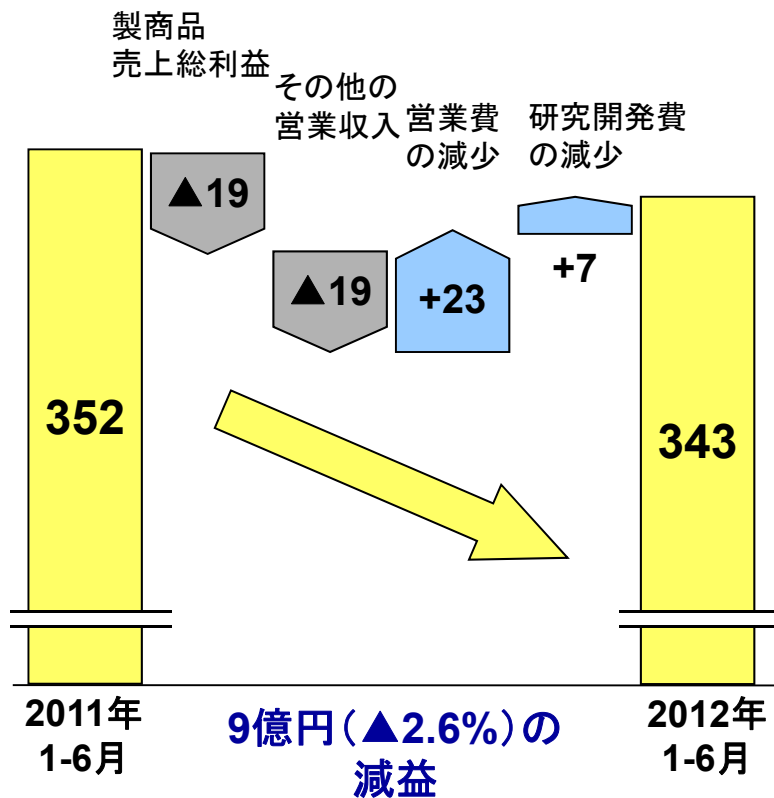
【億円】	決算期売上																シーズン 売上	定点観測数* (百万人)	
	2005年12月期		2006年12月期		2007年12月期		2008年12月期		2009年12月期		2010年12月期		2011年12月期		2012年12月期				
	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月			
通常	2004-05	232																246	1.47
	2005-06		119	99														218	0.92
	2006-07				37	50												87	1.01
	2007-08						52	14										66	0.66
	2008-09								57	110								167	1.27
	2009-10										252	14						266	2.02
	2010-11												2	41				43	1.26
	2011-12														13	78		91	1.63
	2012-13																15	-	-
通常	351 (+265)	136 (▲215)	102 (▲34)	71 (▲31)	362 (+291)	16 (▲346)	54 (+38)	93 (+39)											
行政備蓄等	2005-06		2	65														67	
	2006-07				179	189												368	
	2007-08						96	2										98	
	2008-09								11	144								155	
	2009-10										256	106						362	
	2010-11												59	5				64	
	2011-12														28	4		32	
	2012-13																0		
行政備蓄等	2 (+2)	244 (+242)	285 (+41)	13 (▲272)	400 (+387)	166 (▲234)	33 (▲133)	4 (▲29)											
合計	232	120	163	216	238	148	16	68	254	508	120	61	46	41	81	15			
	352 (+266)	380 (+28)	387 (+7)	84 (▲303)	762 (+678)	182 (▲580)	87 (▲95)	97 (+10)											

黄色の網掛けは予想値、( )内は前期比

\* 国立感染症研究所「感染症発生動向調査」10月下旬から4月中旬(2009-10シーズンは2009年7月初旬から2010年3月中旬)の合計患者数

# 営業利益の増減内訳 1-6月実績

【億円】



【億円】	2011年 1-6月	2012年 1-6月	増減	
				(%)
売上高	1,819	1,853	+34	+1.9
売上原価	745	817	+72	+9.7
<b>売上総利益</b>	<b>1,074</b>	<b>1,035</b>	<b>▲39</b>	<b>▲3.6</b>
うち 製商品	1,002	983	▲19	▲1.9
うち その他の営業収入	72	53	▲19	▲26.4
営業費	453	430	▲23	▲5.1
研究開発費	269	262	▲7	▲2.6
<b>営業利益</b>	<b>352</b>	<b>343</b>	<b>▲9</b>	<b>▲2.6</b>

- 製商品売上総利益の減少 ▲19億円
- その他の営業収入の減少 ▲19億円  
一時金収入の減少
- 営業費の減少 +23億円  
コストの効率的運用
- 研究開発費の減少 +7億円  
後期開発プロジェクトの一巡

# 損益の概要 4-6月（第2四半期）実績

【億円】	2011年		2012年		増減	
	4-6月	売上 (%)	4-6月	売上 (%)		%
<b>売上高</b>	<b>962</b>		<b>950</b>		<b>▲12</b>	<b>▲1.2</b>
製商品売上高	944		932		▲12	▲1.3
<b>タミフルを除く</b>	<b>940</b>		<b>929</b>		<b>▲11</b>	<b>▲1.2</b>
タミフル	4		3		▲1	▲25.0
その他の営業収入	18		18		+0	+0.0
売上原価	394		421		+27	+6.9
<b>売上総利益</b>	<b>568</b>	<b>59.0</b>	<b>529</b>	<b>55.7</b>	<b>▲39</b>	<b>▲6.9</b>
営業費	232		220		▲12	▲5.2
研究開発費	139		132		▲7	▲5.0
<b>営業利益</b>	<b>196</b>	<b>20.4</b>	<b>177</b>	<b>18.6</b>	<b>▲19</b>	<b>▲9.7</b>
営業外収益	12		15		+3	+25.0
営業外費用	14		12		▲2	▲14.3
<b>経常利益</b>	<b>195</b>	<b>20.3</b>	<b>180</b>	<b>18.9</b>	<b>▲15</b>	<b>▲7.7</b>
特別利益	-		0		+0	-
特別損失	5		0		▲5	▲100.0
<b>当期(四半期)純利益</b>	<b>121</b>	<b>12.6</b>	<b>115</b>	<b>12.1</b>	<b>▲6</b>	<b>▲5.0</b>

- 製商品売上高(タミフルを除く) ▲11億円
  - ミルセラ +45億円
  - アバスチン +22億円
  - エディロール +13億円
  - リツキサシ +8億円
  - エポジン ▲53億円
  - ノイトロジン(海外) ▲13億円
  - アクテムラ(海外) ▲11億円
- タミフル\* ▲1億円
- その他の営業収入 +0億円
- 営業利益 ▲19億円

\* タミフル 内訳

	2011年4-6月	2012年4-6月	増減
通常	4億円	3億円	▲1億円
行政備蓄等	-	-	-



# 損益の概要 1-6月実績

【億円】	実績		2月1日公表予想	
	2012年 1-6月	2012年 1-6月	2012年 1-6月	達成率 (%)
売上高	1,853	1,955	1,955	94.8
製商品売上高	1,800	1,895	1,895	95.0
<b>タミフルを除く</b>	<b>1,719</b>	<b>1,812</b>	<b>1,812</b>	<b>94.9</b>
タミフル	81	83	83	97.6
その他の営業収入	53	60	60	88.3
営業利益	343	365	365	94.0
経常利益	343	370	370	92.7
当期純利益	209	220	220	95.0

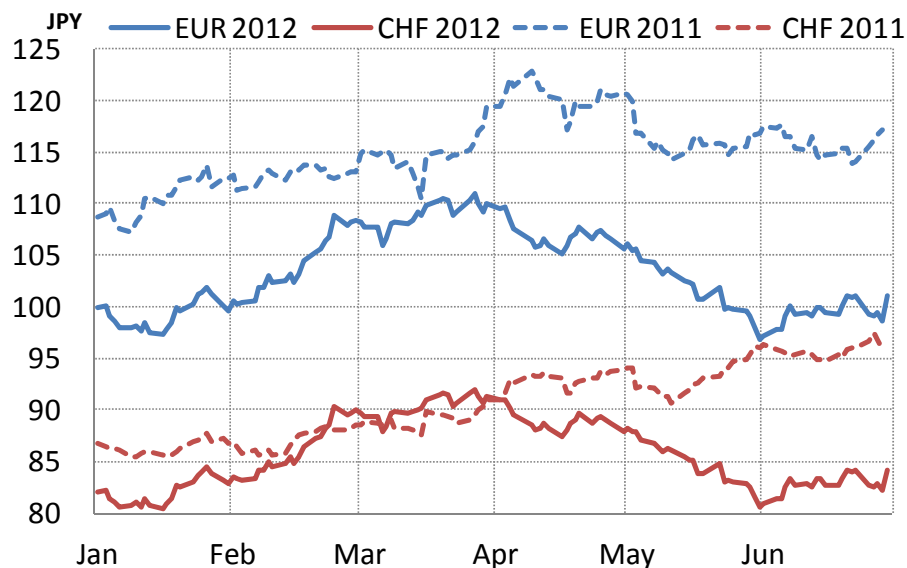
  

【億円】	実績		期初公表予想	
	2012年 1-6月	2012年 1-6月	2012年 1-6月	達成率 (%)
タミフルを除く製商品売上高	1,719	1,812	1,812	94.9
<b>がん領域</b>	<b>724</b>	<b>744</b>	<b>744</b>	<b>97.3</b>
アバステン	296	307	307	96.4
ハーセプチン	135	127	127	106.3
リツキサン	117	113	113	103.5
ゼローダ	52	73	73	71.2
タルセバ	45	36	36	125.0
<b>骨・関節領域</b>	<b>303</b>	<b>314</b>	<b>314</b>	<b>96.5</b>
アクテムラ	79	78	78	101.3
エビスタ	76	80	80	95.0
スベニール	59	68	68	86.8
エディロール	25	27	27	92.6
<b>腎領域</b>	<b>229</b>	<b>283</b>	<b>283</b>	<b>80.9</b>
エポジン	77	87	87	88.5
ミルセラ	75	121	121	62.0
<b>移植・免疫・感染症領域</b>	<b>98</b>	<b>119</b>	<b>119</b>	<b>82.4</b>
ペガシス	34	56	56	60.7
コペガス	10	12	12	83.3
<b>その他領域</b>	<b>150</b>	<b>148</b>	<b>148</b>	<b>101.4</b>
<b>海外製品売上</b>	<b>215</b>	<b>204</b>	<b>204</b>	<b>105.4</b>
アクテムラ	134	123	123	108.9
ノイトロジン	67	65	65	103.1

# 為替変動の影響について

	上期利益影響 (想定レート対比)
売上高	<b>▲3億円</b>
	ノイトロジン(海外) ▲3億円
	アクテムラ(輸出) +2億円
	その他の営業収入等 ▲2億円
原価・販管費	ロシュ品原価 ▲1億円 海外販社販管費等 +1億円
営業利益	<b>▲3億円</b>
営業外収支	為替差損益・為替予約 ▲6億円
経常利益	<b>▲9億円</b>

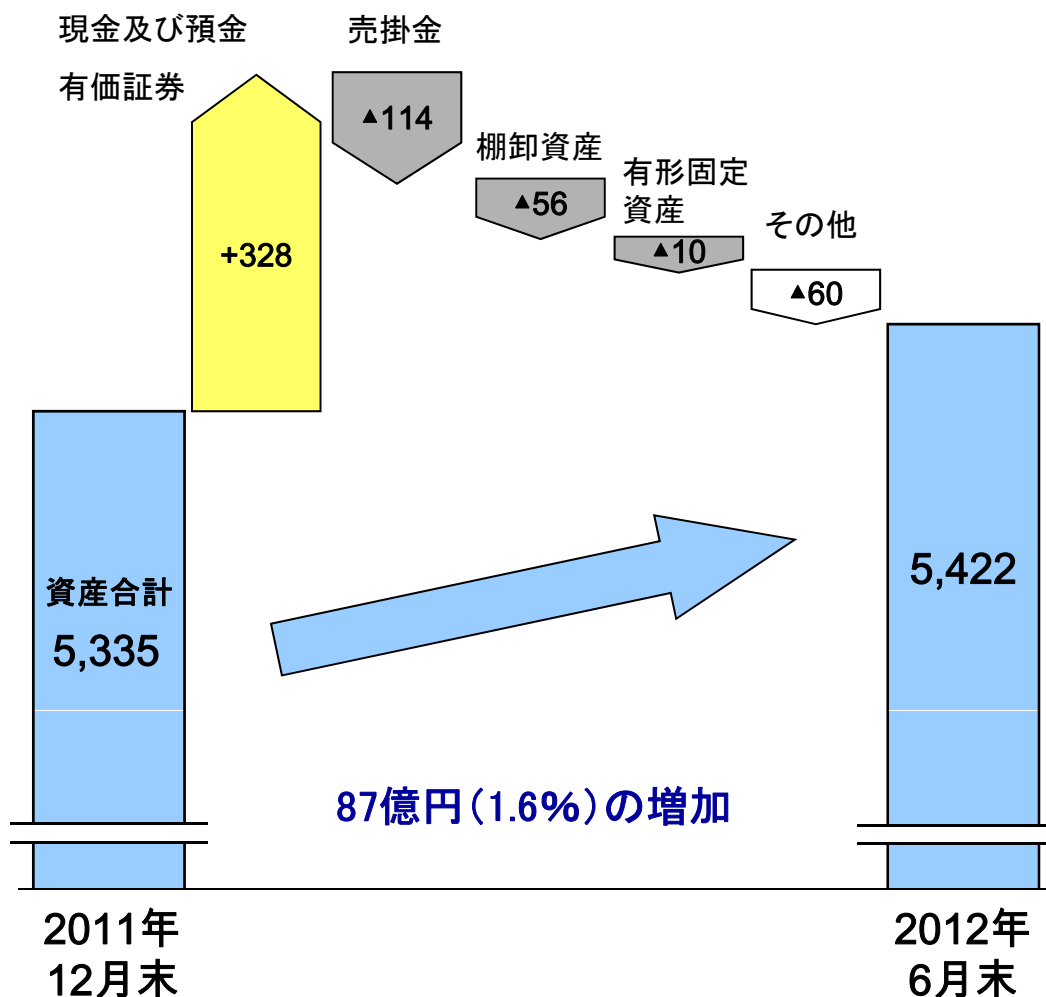
- 期初予想 想定レート (通期)  
CHF: 85.00円 EUR: 109.00円
- 上期実績レート(期中平均)  
CHF: 85.82円 EUR: 103.39円
- (ご参考) 為替レート推移(CHF,EUR)



\*いずれも概算

# 貸借対照表/資産の部

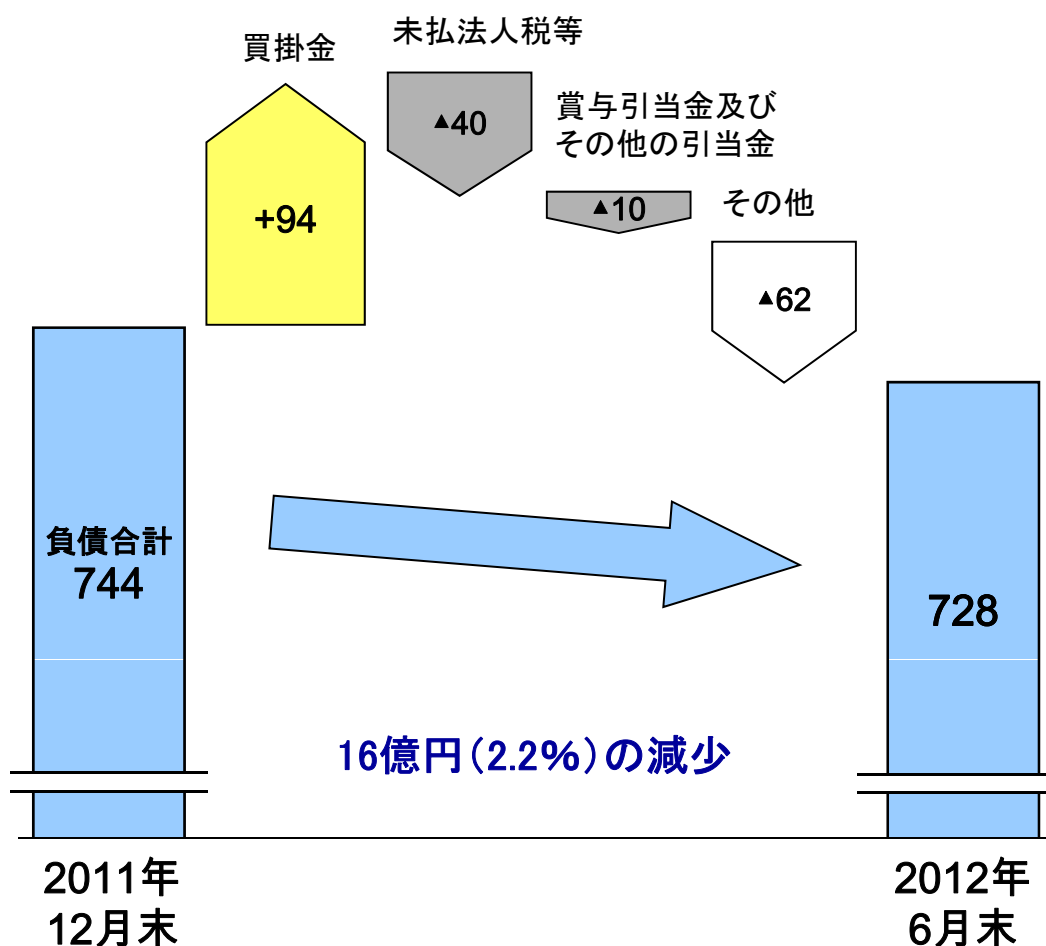
【億円】



- 現金及び預金 +228億円
- 有価証券 +100億円
- 売掛金 ▲114億円  
季節的な要因
- 棚卸資産 ▲56億円
- 有形固定資産 ▲10億円
- その他 ▲60億円  
未収入金・繰延税金資産の減少

# 貸借対照表/負債の部

【億円】

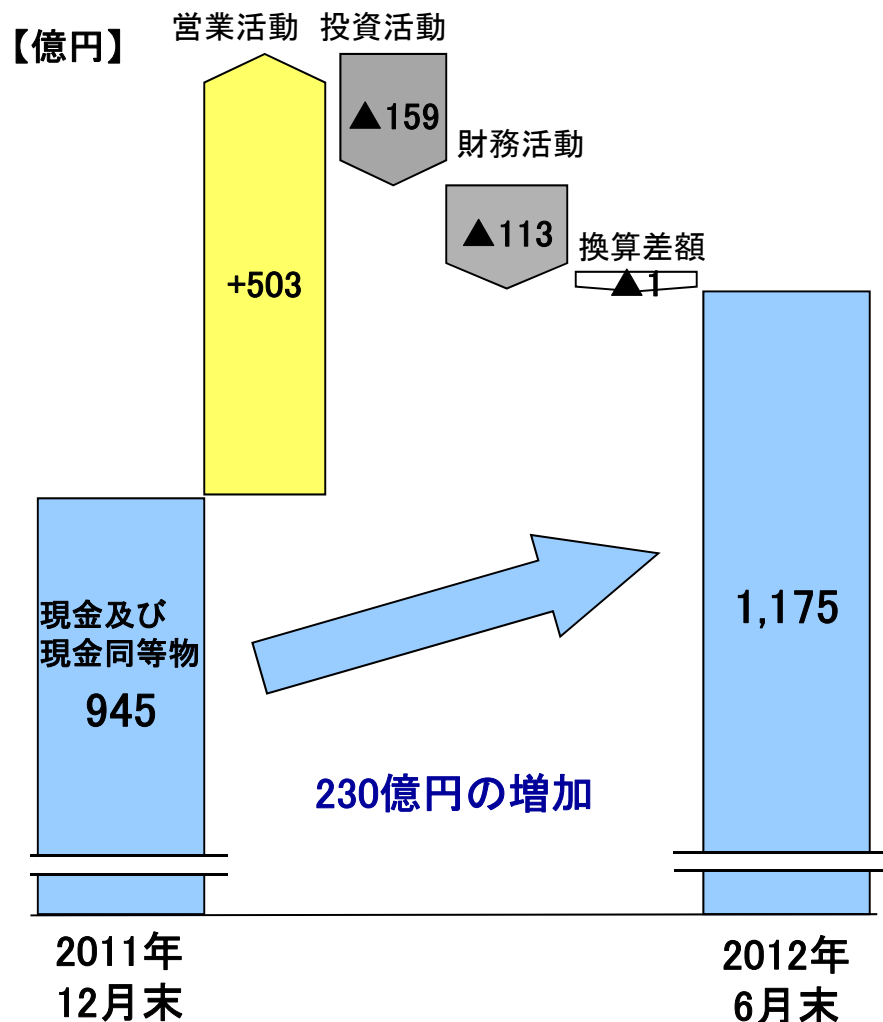


- 買掛金 +94億円
- 未払法人税等 ▲40億円  
法人税の支払
- 賞与引当金 ▲3億円
- その他の引当金(短期・長期) ▲8億円
- その他 ▲62億円  
未払金及び未払費用の減少

自己資本比率

2011年12月末	2012年6月末	増減
85.6%	86.2%	+0.6%pts

# キャッシュ・フロー 1-6月実績



●営業活動に伴うキャッシュ・フロー	+503億円
税前当期純利益	+344億円
減価償却費等	+71億円
運転資本の減少	+264億円
売上債権の減少	+115億円
たな卸資産の減少	+55億円
仕入債務の増加	+94億円
災害損失の支払	▲11億円
法人税等の支払	▲139億円
●投資活動に伴うキャッシュ・フロー	▲159億円
有価証券・投資有価証券の取得/売却	▲87億円
固定資産の取得	▲72億円
●財務活動に伴うキャッシュ・フロー	▲113億円
配当金の支払	▲109億円
少数株主への配当金支払	▲4億円



Roche ロシュグループ

# 開発パイプラインの状況

中外製薬株式会社  
常務執行役員  
プロジェクト・ライフサイクルマネジメントユニット長  
田中 裕

2012.7.26/27

# 開発パイプライン（2012年7月26日現在）

	Phase I	Phase II	Phase III	Filed
がん	CIF/RG7167 - 固形がん CKI27/RG7304 - 固形がん PA799 - 固形がん WT4869 - 骨髄異形成症候群 (PI/II) - 固形がん RG3638/onartuzumab - 非小細胞肺癌	AF802 - 非小細胞肺癌 (PI/II) GC33/RG7686 - 肝がん RG340/Xeloda - 胃がん (アジュバント) ★ RG435/Avastin - グリオブラストーマ (再発例)	RG435/Avastin - 胃がん - 乳がん (アジュバント) - グリオブラストーマ RG1273/pertuzumab - 乳がん (アジュバント) RG3502/ trastuzumab emtansine - 乳がん GA101 (RG7159)/ obinutuzumab - 非ホジキンリンパ腫	RG1273/pertuzumab - 乳がん★ RG1415/Tarceva - 非小細胞肺癌 (1 <sup>st</sup> line) ★
骨・関節		RG484/Bonviva (oral) - 骨粗鬆症	NRD101/Suvenyl - 腱靭帯付着部症	RG484/Bonviva (inj) - 骨粗鬆症 ★
自己免疫疾患	SA237 - 関節リウマチ RG7415/rontalizumab - 全身性エリテマトーデス★		MRA/Actemra (海外) - 関節リウマチ (sc)	MRA/Actemra (国内) - 関節リウマチ (sc)
CNS	RG1450/gantenerumab - アルツハイマー病	RG7090 (mGluR5) - 大うつ病	RG1678/bitopertin (GLYT1) - 統合失調症	
その他	CIM331 - アトピー性皮膚炎★ RG3637/lebrikizumab - 気管支喘息		CSG452/tofogliflozin - II型糖尿病	

## 開発の状況ーがん領域

---

導入品

RG1273/pertuzumab  
HER2陽性乳がん  
2012年5月 申請

導入品

タルセバ  
非小細胞肺がん (1st line)  
2012年6月 申請

導入品

アバスチン  
乳がん (アジュバント)  
P3国際共同治験において主要評価項目を達成せず



## 開発の状況ーがん領域

---

導入品

**ゼローダ**  
胃がん（アジュバント）  
2012年7月 P2開始  
ヤクルト本社との共同開発

自社品

**AF802（海外）**  
非小細胞肺がん  
2012年5月 P1/2開始

自社品

**アクテムラ**  
膵がん 開発中止  
有効性および安全性に関する臨床評価が困難と判断されたことから、開発を中止

# 開発の状況一

## 骨・関節、自己免疫疾患、その他

---

導入品

RG484 (注射剤)

骨粗鬆症

2012年7月 申請

大正製薬との共同開発

導入品

RG7415/rontalizumab

全身性エリテマトーデス

2012年7月 P1開始

自社品

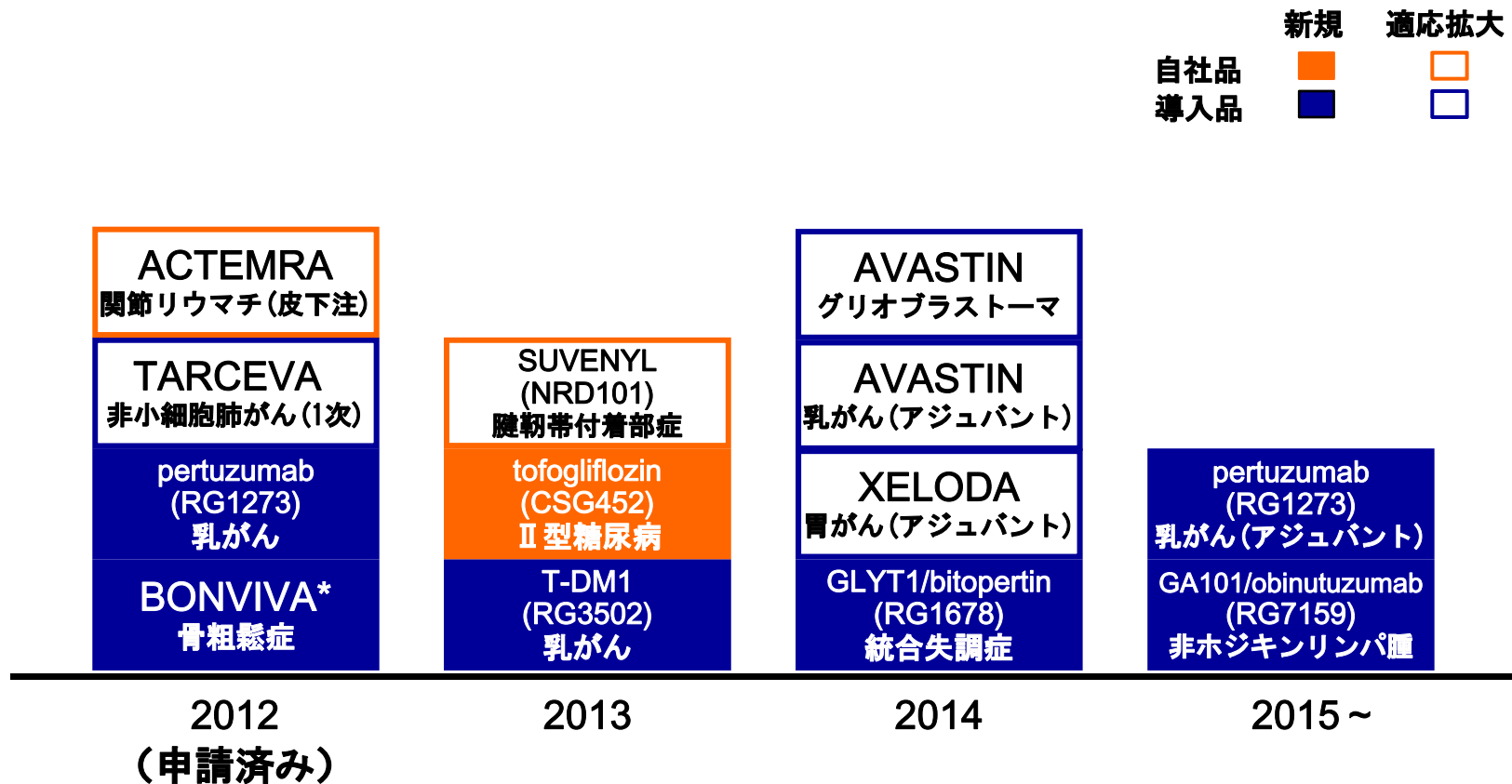
CIM331

アトピー性皮膚炎

2011年9月 P1開始

# 今後の申請予定（PoC取得済製品・開発品）

## ■ 引き続き毎年、新製品/適応拡大等を申請予定

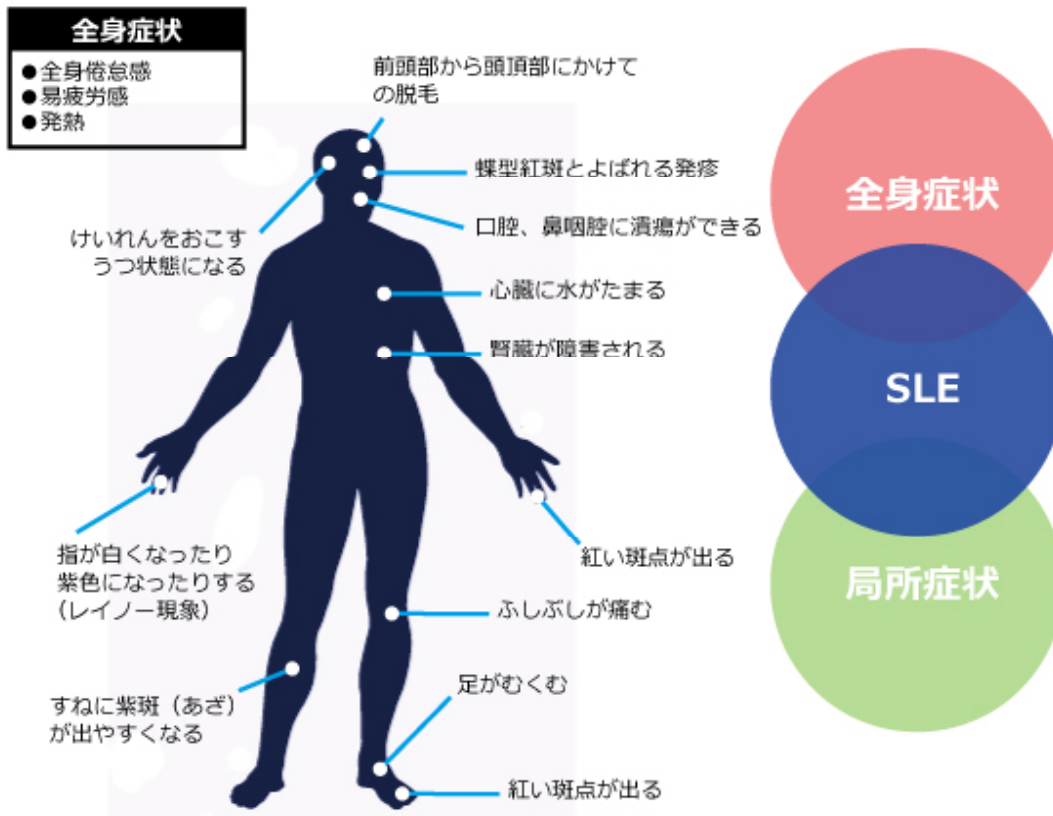


\*海外製品名

# Rontalizumab - SLEの病態

- 患者数：53,000人、男女比1：9で女性に多い自己免疫疾患
- おもな症状：全身症状、皮膚、関節症状をはじめとした局所症状、および臓器障害
- 現在の治療法：ステロイド、難治例には免疫抑制剤を併用

## 全身性エリテマトーデス (SLE) にみられる症状



環境因子・遺伝因子等により、免疫系が自己への反応性を獲得 (自己免疫寛容の破綻)



自己抗体が産生される

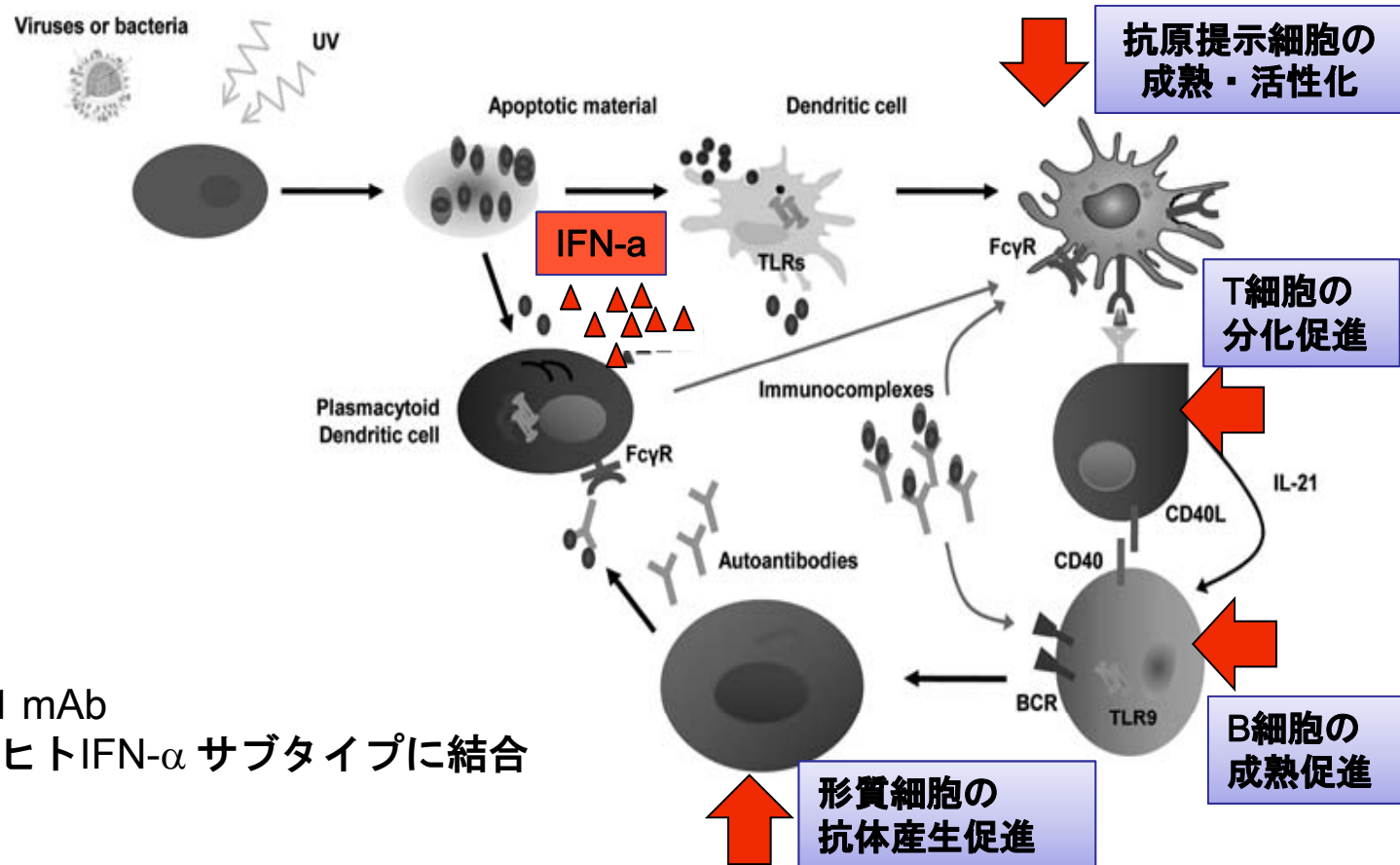


自己抗体の免疫複合体が、様々な組織へ沈着し、慢性炎症を引き起こす

# Rontalizumab - 作用機序

## ■ IFN- $\alpha$ はSLE病態において重要な役割を果たす

*Ann Rheum Dis 2010;69:1603-1611より改変*



## ■ Rontalizumab:

- ヒト化 IgG1 mAb
- 12種全てのヒトIFN- $\alpha$  サブタイプに結合

## ■ 作用機序および予想される効果:

- IFN- $\alpha$  の阻害により慢性炎症の過程を抑制し、SLEの症候・症状を改善させる

# 未承認薬・適応外薬の開発要請への対応状況

- 医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議
  - 第1回開発要請の9製品10適応症（用法用量の変更を含む）のうち7製品8適応症については承認済み
  - 第1回開発要請品のうち対応中のアバスチン、バクトラミン及び第2回開発要請の2製品2適応症については下表のとおり

開発要請	製品	適応症	現在の開発状況
第1回開発 要望 開発要請品	アバスチン	卵巣がん	対応中
	プルモザイム	嚢胞性線維症における肺機能の改善	発売済（2012年6月）
	バクトラミン	ニューモシスティス肺炎の治療及び予防	申請中 （2012年2月申請）
第2回開発 要望 開発要請品	アバスチン	再発膠芽腫	治験実施中
	ハーセプチン	HER2陽性乳がんに対する術後補助化学療法における用法用量の追記（1週間間隔投与）	公知申請の妥当性について検討会で検討中

赤字:2012/2/1からの変更点

## **お問い合わせ先：広報IR部**

### **報道関係者の皆様：広報グループ**

Tel : 03-3273-0881

e-mail : [pr@chugai-pharm.co.jp](mailto:pr@chugai-pharm.co.jp)

担当：相川、河原、宮田、荒木

### **投資家の皆様：IRグループ**

Tel : 03-3273-0554

e-mail : [ir@chugai-pharm.co.jp](mailto:ir@chugai-pharm.co.jp)

担当：内田、時田、喜多村、蓑島